

会報 39号

Japanese Forum For Winter Sports Sciences

冬季スポーツ科学

研究会

第15回長野フォーラムのご案内

2004年9月26,27日 於信州大学教育学部



ホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tpspo>

2004年8月15日発行

長野フォーラムのお知らせ

2004年9月26,27日 於信州大学教育学部

今年も、シンポジウムと一般発表を予定しています。

1. シンポジウム

テーマについては、運営委員会及び事務局で検討させていただき、決まり次第ご連絡いたします。

2. 一般発表

申し込みは電子メールまたは郵送、fax で下記までお願いします。

申し込み **8月30日（月）まで**

抄録の締めきり **9月11日（土）まで**

抄録はA4サイズ1枚。

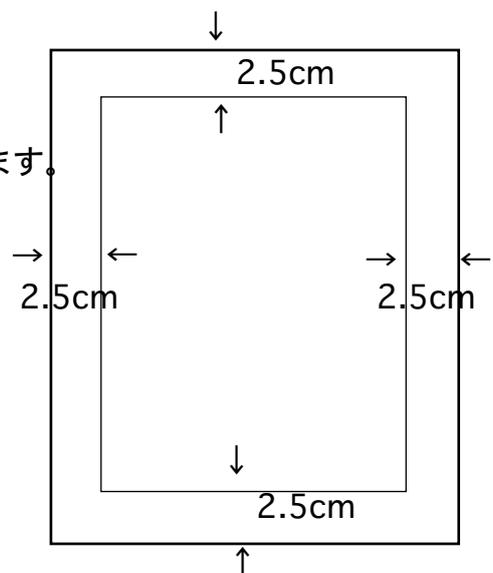
上下、左右のマージンは2.5cmをお願いします。抄録はそのままコピーできるように準備して、できるだけ郵送で事務局まで送ってください。Eメールご利用の場合は、最終的なレイアウトについては事務局にお任せください。ご連絡が遅れて、忙しくなっていました。すみません。

3. 参加申込み

参加、一般発表の申込みは広島大学までお願いします。

事務局 739-8524 東広島市鏡山 1-1-2
広島大学教育学部健康スポーツ科学講座
生理学研究室 渡部和彦
直通電話 0824-24-6840
直通 fax 0824-24-5265

メールでのお申し込みは冬季スポーツのホームページからお願いします。



VRML 体験

昨年冬季スポーツ科学フォーラムで岡本 敦 氏（名古屋経営短期大学）より VRML という、3次元描画ソフトをご紹介をいただいた。無料でダウンロードでき、しかも普通のパソコンのインターネットエクスプローラー等で使えるということだった。スポーツ選手の動きを表現するのに手軽であり、しかも見る人の視点で選手を右から、左からと見られる便利なもので、しかもコンパクトなソフトだという。帰宅後、さっそく自宅のパソコンにダウンロードを試みた。しかし、いつものことながら、自宅のマッキントッシュですぐに使えるということにはならず、そのままにしてしまった。

今回、原稿に書くにあたり改めて VRML を yahoo で検索しながらあちこち覗いてみるうちに、親切なサイトに出会ったので紹介させていただく。

www.ne.jp/asahi/j/yananose/vrml/index.html

このページには、「VRML でできること」、「VRML プラグインの種類」など基礎的な情報が載せられており「Windows マシンへの CosmoPlayer のインストール」の項にはダウンロードするときの注意も、親切に書かれている。主にウィンドウズを使っている人を対象として書かれているが、Mac を使っている私にも「Mac 用のプラグインは『こちら』からダウンロードできます」と「VRML 関連リンク」のところに書いてくれていた。さらに「その他、気がついたこと」の項には、CosmoPlayer で、視点の回転を行なうと問題の発生することがあこと、対処法としては、視点を回転せずに物体を回転させれば問題なく同じ結果が得られることなども記述されている。

おかげで、Mac へのダウンロードもうまくいった。yahoo 検索で出て来た VRML WORLD というページで「金閣寺」の 3D 画像を楽しんだ。



国立スポーツ科学センター訪問 その2

飯塚邦明

前回の会報で、「国立スポーツ科学センター訪問」の記事を書いた。私としては国立スポーツ科学センターの方にも多少なりとも喜んでいただけるのではないかと書いて書いた。しかし、そうでもなかった。訪問者である私が、センター内部で聞いたことを「冬季スポーツ」の会報で公表したことについて、運営部の原さんから電話をいただいたという。後日、私は事情を知って電話で謝った。運営部としては「センター内部で取材するなら正規の手続きを踏んでほしい」ということだった。

地代・家賃

記事に対して国立スポーツ科学センターからリアクションのあったことはうれしいことではあったが、書いた方としては、喜ばれるのと嫌がられるのでは、たいそうな違いで、とまどいながら、いろいろ考えた。そして、地代・家賃に対する感覚の違いが原因ではないか、と思い当たった。

私は小さな会社を経営している。黒字なのか赤字なのかという尺度で物事を見る癖がついてしまった。小さい店でも客で混み合っていれば儲かっていようし、大きな店でもガランとしていれば、経営的には苦しいだろうと思う。他人様の立派なビルを見れば、建築時の借入金と支払利息はどのくらいか、といった余分なことも思ってしまう。売り上げを伴わない大きな設備は、経営という視点からみればありがたいものではない。

国立スポーツ科学センターのある北区西が丘は、都心からはやや離れているとはいえ、地下鉄の駅からも近い。巨大なインテリジェンスビルに最新の設備を備えた国立スポーツ科学センターの中を歩くと「私の一步はいくらだろうか」と妙な気持ちになる。「中で仕事する職員の方は、気が気ではないだろう」と、私は自分自身の習性として勝手に想像してしまった。もっと人を呼べばいいのに……。大学院生に、ボランティアとして勉強かたがた手伝ってもらったりしてはどうか、研究器材の稼働率も多少は上がるだろうし、大学との情報交換もすすむのではないかと……。賑わっていれば、仕事が進んでいる感じがするだろう。

しかし、気付いてみればあたりまえのことだが、これは私の思うことであって、誰もが思うことというわけではなかった。センターは国立だから、職員は家賃を払わないでいい。家賃や設備がタダなら、設備が大きくて、研究機材が多いからといって慌てる必要はない。そのへんの感覚の違いから、センターであまり共感を呼ばない意見を私は述べたのだと思う。

しかし、世間には納税者の視線もある。それが納税者の恨みとなってセンターに襲い掛からないともかぎらない。そうならないよう、あるものはちゃんと使えるように設備に見合っ

冬季スポーツ科学研究会

事務局 739-8524 東広島市鏡山 1-1-2 広島大学教育学部

健康スポーツ科学講座 生理学研究室 渡部和彦

直通電話 0824-24-6840 直通 fax 0824-24-5265

会報作成 飯塚邦明

電話 048-874-3159

冬季スポーツ科学フォーラム
於 信州大学 9月26,27日
参加申し込み

氏名

所属

連絡先住所 〒

電話

Eメール

一般発表を する しない
懇親会に参加 する しない
どちらかに○をつけてください。

なお、研究会参加費は当日、受付にてお願いいたします。